

笑顔あふれる学校

Smiling School 勝央中



勝央中学校 HP はこちら→ <http://gakuji.town.shoo.lg.jp/shoo-mh/>

勝央中学校だより No.12

令和6年1月23日(火)

勝央町立勝央中学校長

浦島 毅

TEL: 38-3148

夢を実現するためには「信念を持ち努力しチャンスを逃さないことだよ」

○1月9日に始まった3学期も2週間経ちました。始業式の式辞では、1日に発生した能登半島の地震や2日に起きた羽田空港での飛行機衝突事故などもあり、おめでとうからはスタートできず、「当たり前前の日常の大切さや頑張ろうと思えば自分の意思でいくらでも頑張ることができる環境の幸せさ」、そして、ここから進路実現に向かう勉強のアドバイス、「やっておけばよかった」ではなく、「やっておいてよかった。」となるための話をしました。この2週間、全職員での3年生全員への面接練習、津山高専の推薦入試などを終え、25日は県内私立高校の一期入試を迎えます。入試や進路決定は、ゴールではなく、新たな世界でのスタートです。緊張も含めて頑張ってきてください。

頑張ってきた自分を信じチャレンジすれば「夢」は叶うから。そんなみなさんに、1つのエピソードを送ります。

○今年も全国高校サッカー選手権大会が開催された。決勝は、青森山田高校が近江高校を破り、4度目の優勝で幕を下ろした。一人ひとりそれぞれの夢・目標を持って県内外から入学して過ごした3年間、それぞれのチーム・選手にも物語があったことだろう。全国高校サッカー選手権、2021年第99回大会のことだ。この年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夏のインターハイは中止となり、迎えた最後の公式戦である冬の選手権大会、山梨学院高校が青森山田高校との接戦を制し、2度目の優勝を果たした。さかのぼること6年、2014年の出来事、ポルトガル代表、クリスティアーノ・ロナウド選手は、7月に来日した際に健康美容器具のPRイベントに出席。その際に当時小学6年生の岩岡少年が、たどたどしいポルトガル語で「僕の夢はサッカー選手になることです。どうしたらいいかアドバイスを下さい。」と震える声で尋ねた。当然、流暢ではなかったため、報道陣から笑い声が上がった。そのとき、ロナウド選手は、鋭い視線を向け「どうして笑うんだ？ 彼のポルトガル語は素晴らしいよ」とたしなめた。

会場が静まり返る中で「信念を持ち、努力し、チャンスを逃さないことだよ」と助言し、岩岡さんの肩を抱いた。岩岡選手は、高校は実家を離れ山梨県で寮生活を始めた。最高学年で迎えた2020年の新人戦では、ボランチのレギュラーとして試合に出場することができたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で部活が中断、夏に活動を再開すると、彼のポジションは2年生に奪われた。それでも「諦めないで自分を信じて努力を重ねていればいつかはチャンスが来る。」とロナウドの言葉を胸に、日々のトレーニングで一切手を抜かなかった。最後の大会となった選手権予選、チームは優勝したが、一試合もベンチに入ることはできなかった。全国大会本番まで1ヶ月半、チームとしてのラスト3試合でスタメン出場を果たした。岩岡選手は、「僕の中でこの3試合がラストチャンスだと思っていました。夢だった選手権出場を手にするためには、この3試合で結果を出せばチャンスはあると思っていた。自分を信じて、全力でプレーをしました。」と語った。その結果が認められ、25人の登録メンバーに入ることができた。選手権では、仲間の負傷により、2回戦で交代出場を命じられ勝利に貢献した。3回戦では、先発出場し献身的な守備を見せるも相手との接触から負傷しプレー続行が不可能となり交代を告げられた。彼は準決勝、決勝をベンチの裏のスタンドで見つめることとなってしまった。決勝の時はスタンドからピッチにつながる通路を開けてもらっていたため、最後のPKが決まった瞬間はスタンドからピッチに走っていき、ピッチの中でみんなと抱き合うことができた。「市立船橋や流通経済大柏に入れなかった自分が、『山梨学院で日本一を取りたい』と本気で思ってここに来たので、僕も少しは試合に出場して、この日本一に少しでも関わることができて本当に嬉しかった。」みんなと過ごした3年間、選手権の2週間は僕の中で一生の財産になると思います。と言葉を残し、「夢」は山梨学院大学サッカー部での活動に続いている。（「ロナウド 岩岡」などで検索すると当時のインタビュー動画も観ることができます。）

【面接練習（3年）】

1月10日、1、2年生は給食後下校、全職員で対応し、3年生の面接練習を行いました。11月から学年での練習はしてきましたが、普段あまり関わりの少ない他学年の先生に面接官をしてもらうことにより、より入試に近い形で実施することができました。緊張しながらも、志望校へ合格するための決意を感じる場面がたくさんありました。

【受験応援献立】

1月17日の給食は「受験応援献立」でした。希望の進路実現に向けて頑張っている3年生を応援する取組のひとつとして、メニューを保健委員会と栄養教諭で考えました。今回は、題して「めっちゃ勝つセット!」セルフメンチカツ（勝つ）、野菜たっぷりコーン（幸運）サラダなどがありました。今回は保健委員の平田 煌さん大土井 颯心さん(2-3)が献立の説明と応援のメッセージを放送で伝えてくれました。次回26日は、「これで免疫力UPだ!」3回目は2月6日に「トントン拍子に合格メニュー」の応援献立が予定されています。

【受験応援メッセージ】

1月15日、給食の時間に1,2年生が各クラスで作成した受験応援メッセージ動画を上映しました。各クラスの映像を観ましたが、どれも心が込もっており、3年生を応援することにより、1年後・2年後の自分と対話するきっかけになっていました。また生徒や先生が書いた応援メッセージは、2階への西階段に掲示しています。みんなで応援する姿に胸が熱くなりました。

【吹奏楽 アンサンブルコンテスト】

12月26日、くらしき作陽大学で吹奏楽アンサンブルコンテストが行われました。本校からは「管打五重奏」と「管楽三重奏」の2チームが出場しました。両チームとも銅賞となりました。

【晴れの国岡山駅伝】

1月28日岡山市で開催される市町村対抗の第13回「晴れの国駅伝」が実施されます。中学生・高校生・一般の男女でチームが構成されています。本校からは、藤原慧斗さん、井上幸希さん、日野詩弥さん、竹久桃香さん、宮野綾さん、森本芽生さん、下山まなみさん、本多香琳先生がエントリーしています。当日は持てる力を存分に発揮して頑張ってください。

